

中小企業向けDX支援

DX学校[®]のご案内

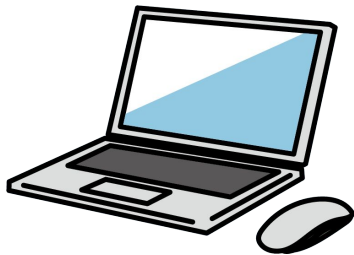
DX学校のミッション

日本の未来をデジタルとアナログの融合で豊かにする

DX学校は地域の中小企業のデジタル化を支援しています。

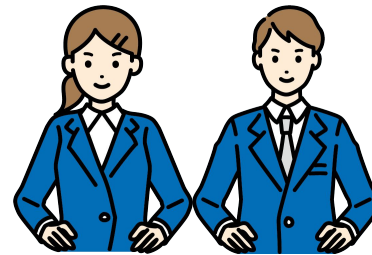
デジタル化による効率化で、人間にしかできないアナログの部分に力を集中させることができれば、中小企業が新たな価値を生み出し、地域を元気に、そして日本を元気にすることができると思えました。

DX学校は、豊かな日本の未来の実現を目指します。



DX学校のデジタルの力

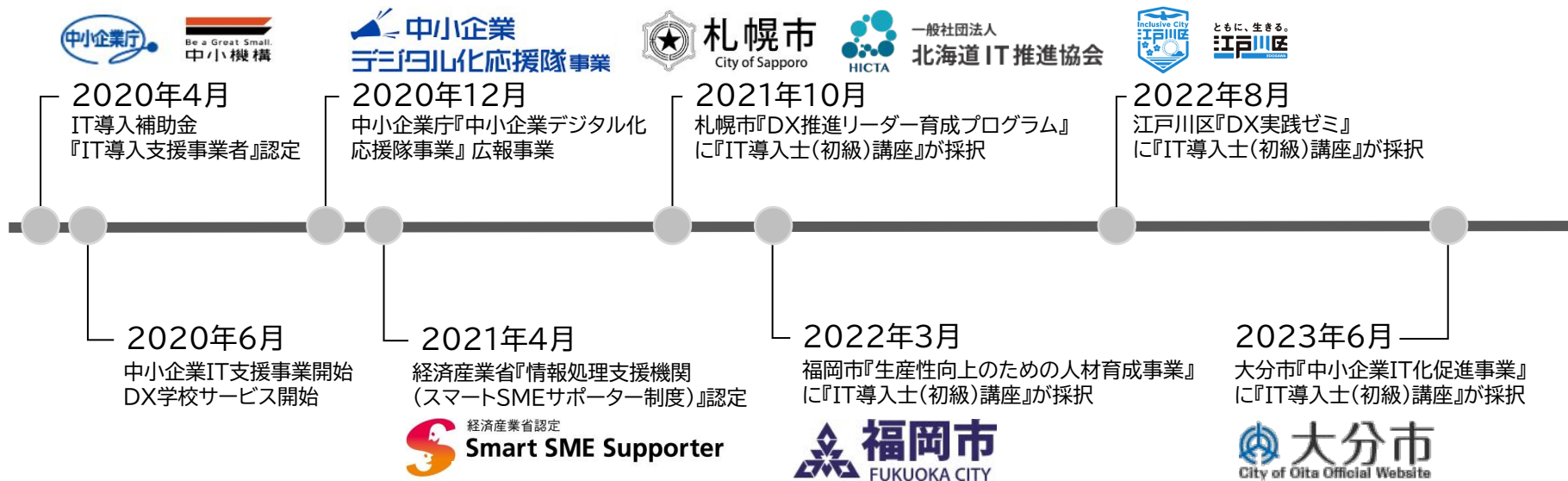
×



中小企業がもつアナログの力

活動実績

提供プログラムは省庁・自治体のIT・デジタル推進事業にも採択



DX学校
ご案内資料

- ① DX学校とは
- ② IT人材育成サービス
- ③ IT導入支援サービス
- ④ その他のサービス

DX学校

ご案内資料

- ① DX学校とは
- ② IT人材育成サービス
- ③ IT導入支援サービス
- ④ その他のサービス

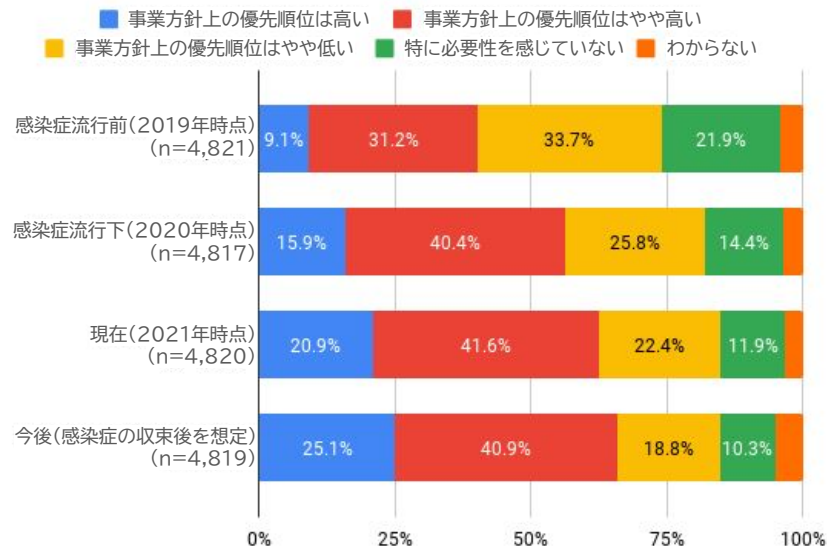
中小企業のデジタル化は毎年加速

デジタル化の優先順位は感染症流行前から現在に至るまで毎年高まっています。

「高い」「やや高い」と考える企業は2年間で2割以上増えています。

また、今後においても約7割の企業が「高い」「やや高い」としているように、今後もデジタル化が更に加速していく傾向にあります。

時点別に見た、事業方針におけるデジタル化の優位順位



資料:(株)東京商工リサーチ「中小企業のデジタル化と情報資産の活用に関するアンケート」
※2022年版中小企業白書より引用

なぜ企業はデジタル化するのか？

DX学校とは

デジタル化・IT投資の推進は企業の安定と成長に貢献

□ 売上安定化に貢献

新型コロナウイルス感染症流行後に、デジタル化の取組が進展しなかった企業のほうが、デジタル化の取組が進展した企業よりも売上を大きく落としています。

デジタル化の取組と売上の変化率



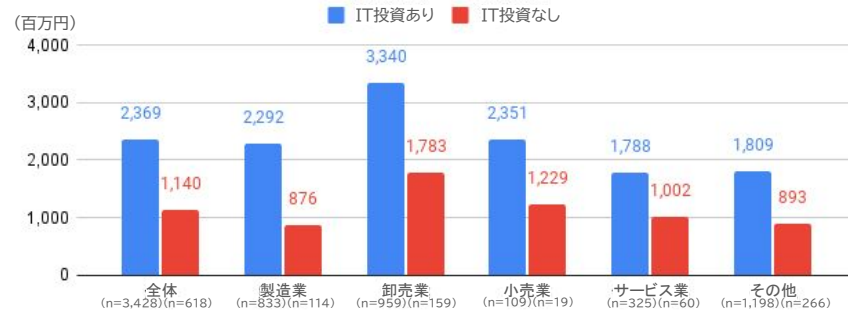
資料：(株)東京商工リサーチ「中小企業のデジタル化と情報資産の活用に関するアンケート」

※2022年版中小企業白書より引用

□ 売上拡大に貢献

IT投資を積極的に行っている企業のほうが、IT投資を行っていない企業より売上が2.1倍高い、というデータがあります。

IT投資有無別の企業の売上高



資料：中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」(2015年12月(株)帝国データバンク)

※2016年版中小企業白書より引用

デジタル化における中小企業の課題

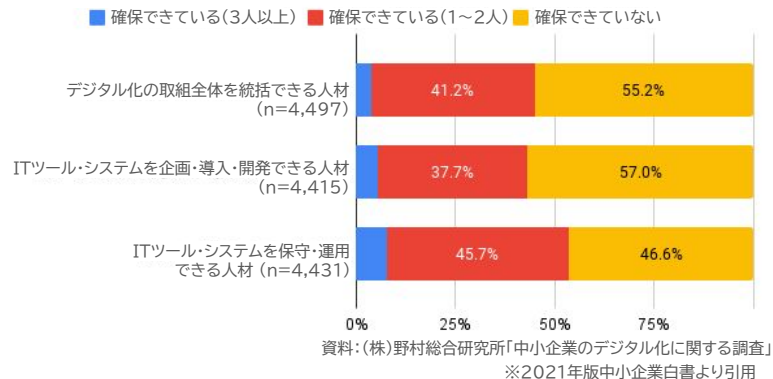
DX学校とは

一方、多くの企業で人材・体制課題でデジタル化を進められない状況

□ 人材の不足

中小企業の約半数が自社のデジタル化を進めるための、IT人材の確保ができていません。

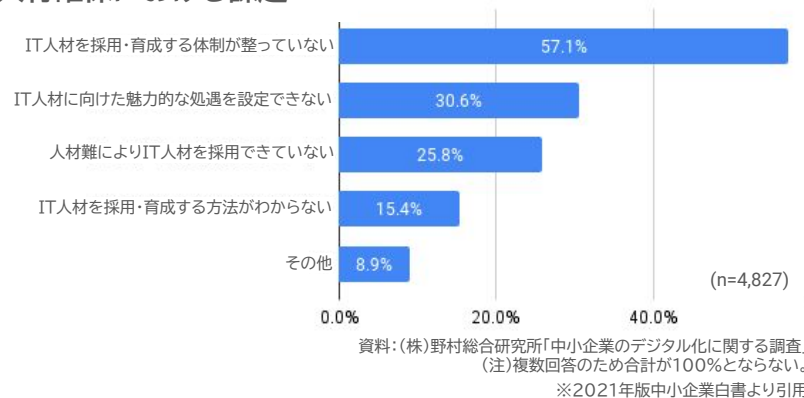
IT人材の確保状況



□ 社内体制の未整理

約半数の企業で、デジタル化を推進するIT人材を採用・育成する体制に課題があります。

IT人材確保における課題



人材確保・育成の方針転換

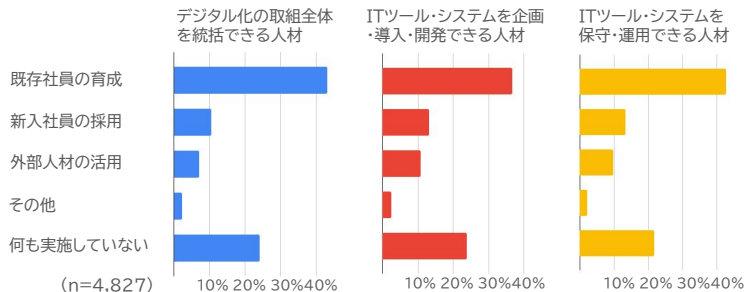
DX学校とは

経営主導・外部パートナーの活用によるスピードアップが重要

□ 既存社員のIT人材育成が主流

6割以上の企業で「既存社員のIT人材育成」
「何も実施していない」のいずれかの状況です。

IT人材の確保方法

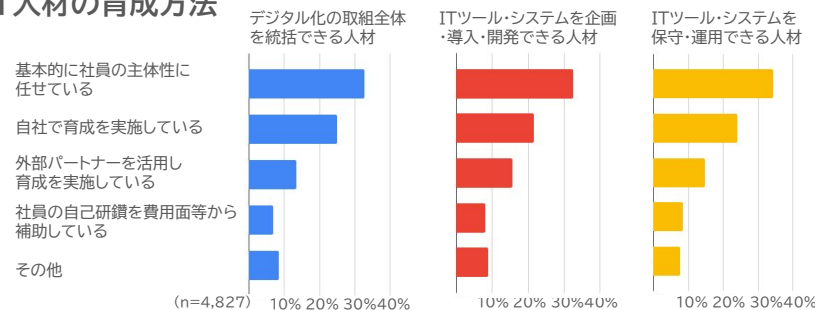


資料：(株)野村総合研究所「中小企業のデジタル化に関する調査」
(注)複数回答のため合計が100%とならない。
※2021年版中小企業白書より引用

□ 教育環境の未整備

また社員の育成は、約4割の企業で社員の主体性に任せており、その補助をする程度に留まっています。

IT人材の育成方法



資料：(株)野村総合研究所「中小企業のデジタル化に関する調査」
(注)複数回答のため合計が100%とならない。
※2021年版中小企業白書より引用

中小企業の課題を解決する2つのサービス

DX学校とは

IT知識ゼロでもスタートできる社内人材の育成・導入支援

□ IT人材育成サービス

3ヶ月間の研修で、IT基礎知識とデジタルの感覚を身につけます。



□ IT導入支援サービス

DX学校のIT導入担当者が、企業の現状に合わせてIT導入をサポートします。



DX学校の特徴①

DX学校とは

誰にでも扱いやすいサービスから導入

DX学校では、月額1,000円程度(一人あたり)から始めることができる、誰にでも扱いやすく、どの仕事でも役に立つサービスから導入していきます。

会社全体が「IT導入してよかった」という実感を持つことで、より高度な専門領域のIT導入の提案がしやすくなります。

□ DX学校のIT導入ステップ



中小企業のITに関する豊富な相談・支援実績

IT相談実績

4,000件

IT相談の豊富な実績があります。
ITが苦手でも安心してご相談いただけます。

IT導入補助金申請実績

90件

経済産業省IT導入補助金の実績も豊富です。
補助金申請のサポートもお任せください。

DX学校

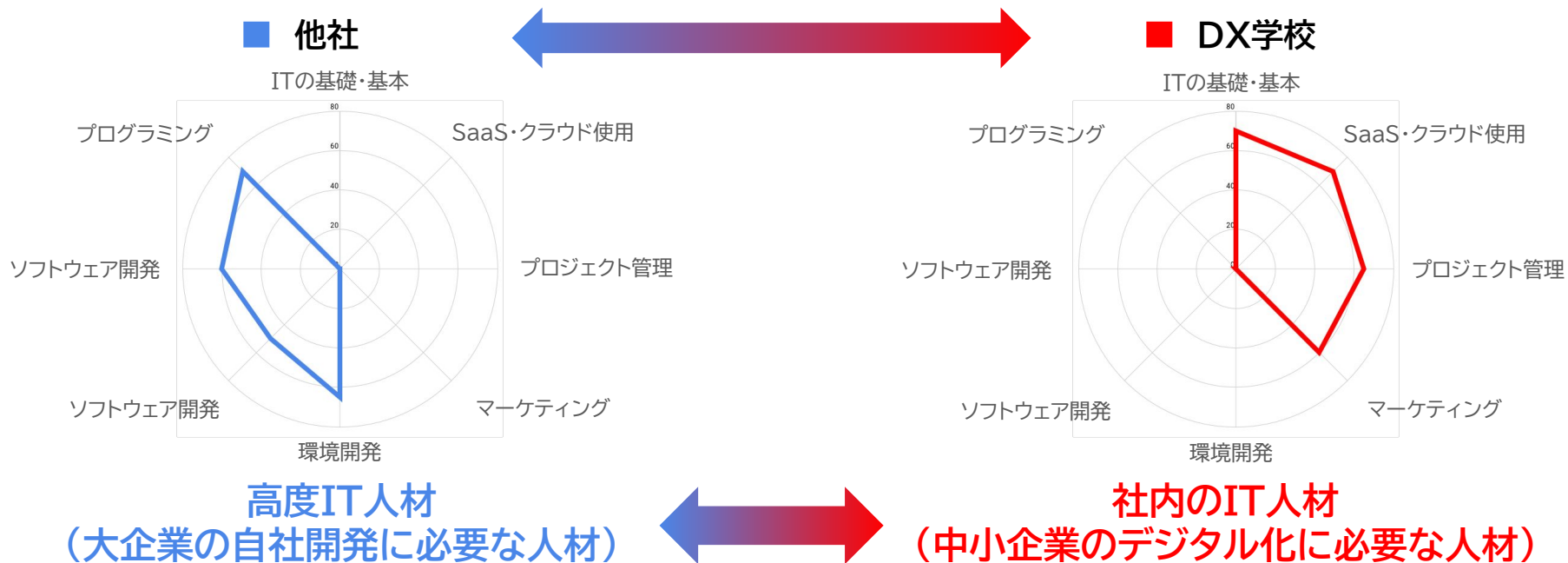
ご案内資料

- ① DX学校とは
- ② IT人材育成サービス
- ③ IT導入支援サービス
- ④ その他のサービス

IT人材育成サービスの特徴

IT人材育成サービス

中小企業のデジタル化に本当に必要な人材を育てるカリキュラム



DX学校の3つのお約束

IT人材育成サービス

経営課題に寄り添い、分かりやすい講義で**自走する力を育成**



誰でも分かりやすい講義

最先端のデジタル知識を、難しいIT用語は使わずに、どなたにも分かりやすく講義します。



経営課題の発見と解決

ITを用いた経営課題の発見・解決と事業成長のためのノウハウを提供します。



自走する力を育成

受講者が自らITを用いて事業を成長させることができるようにします。

IT導入士(初級)講座

アナログな中小企業が、IT導入の勘所を理解し自立して自社のIT導入を進められるようになる「社内のIT担当者」を育成します。

従業員全員がメリットを感じられる社内コミュニケーションの改善やテレワークの導入を実際に行いながら、DXに向けた体制が自社内でできるようになる3ヶ月・12回のオンライン講座です。

受講料金	受講期間
330,000円(税込)	3ヶ月

IT導入士(初級)講座
教養講義 担当講師

DX学校 校長
梅崎 健理

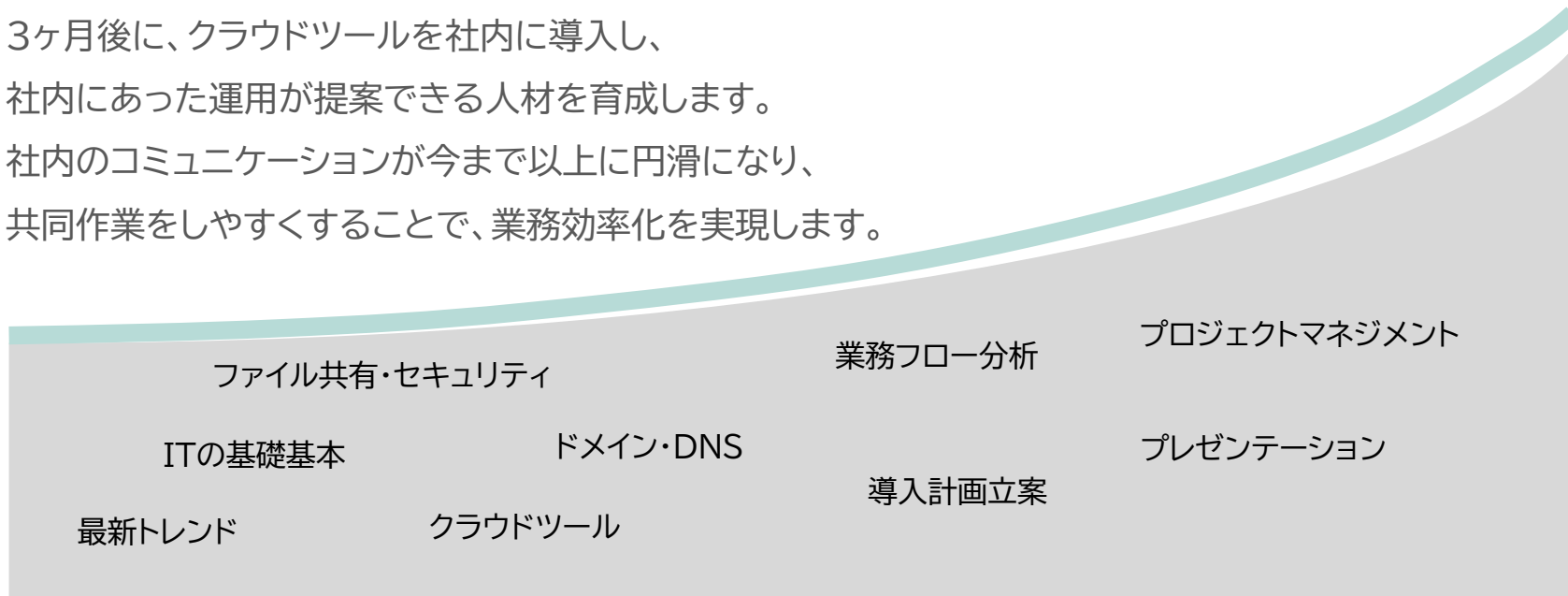


3ヶ月でIT人材を育成

IT導入士(初級)講座

IT知識ゼロから3ヶ月で会社の未来をつくるIT人材を育成

3ヶ月後に、クラウドツールを社内に導入し、
社内にあった運用が提案できる人材を育成します。
社内のコミュニケーションが今まで以上に円滑になり、
共同作業をしやすくすることで、業務効率化を実現します。



講義は「実践型講義」と「教養講義」の二本立て

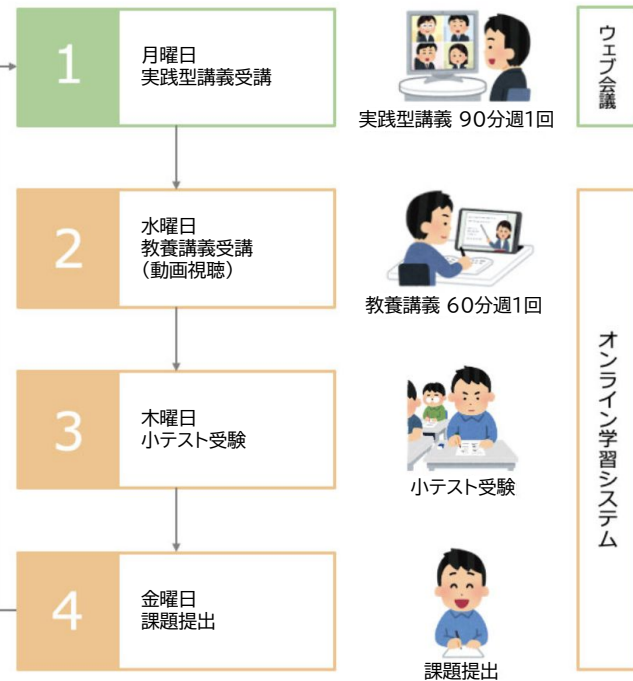
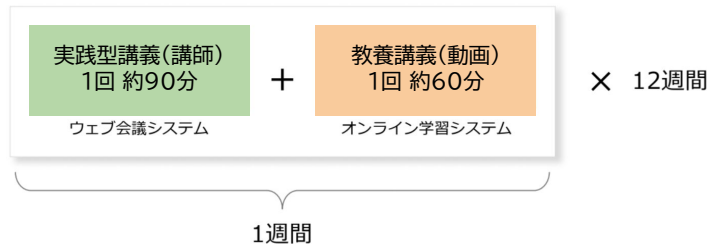
実践型講義(講師)(ウェブ会議システム)1回 約90分

一人ひとりコミュニケーションをとりながら、教養講義で学んだことを実際に社内の現状に当てはめて考えていく、より実践的な講義です。

教養講義(動画)(オンライン学習システム)1回 約60分

ITに関する基礎知識を学ぶ講義です。

講義後に、小テストと課題に取り組みます。



「実践型講義」はウェブ会議システムで実施

曜日と時間を定めてグループごとに講義を行います。
テキストや動画内では紹介されない豆知識や、実際の操作などの実践的な内容をお届けします。

講師が一人ひとりとコミュニケーションをとりながら講義を行いますので、質問がやすく、わからないところがあっても安心して受講できます。



□ 講師はDX学校のIT導入診断士です

DX学校 古河校

担当:IT導入診断士

奥貫 祐次

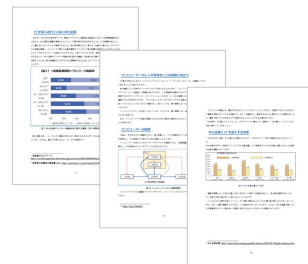
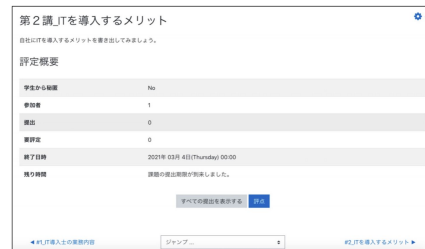
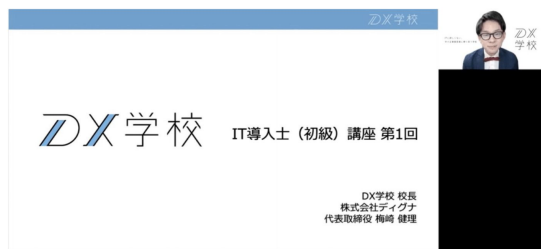
(有限会社コースター 取締役)



教養講義とは

IT導入士(初級)講座

「教養講義」はDX学校 校長 梅崎健理の講義動画を見放題



オンライン学習システムで講義動画をご視聴後、小テストを受験し、理解の確認を行います。

また、会社の現状に合わせた実践的な課題にも取り組みます。

ITの世界は移り変わりが早いので、講義とテキストは、3ヶ月ごとに改訂しています。

**DX学校 校長
梅崎 健理**

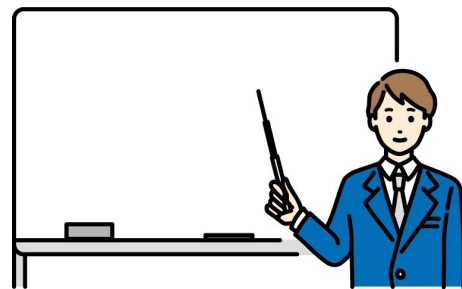
株式会社ディグナ
代表取締役

平成5年生まれ
鹿児島県出身



ITの基礎・基本から自社へのIT導入計画実行までを集約

- | | | | | | |
|------|--------------------|------|--------------------------|------|--------------|
| 第1章 | IT導入士の業務内容 | 第11章 | ウェブ会議ができるようにする | 第21章 | ワークフローを書いてみる |
| 第2章 | ITを導入するメリット | 第12章 | 議事録をリアルタイムで作ってみる | 第22章 | 導入計画を立案する |
| 第3章 | 時代の変化に合わせていく | 第13章 | ファイルを共有する | 第23章 | プレゼンテーションの準備 |
| 第4章 | 成功例を学習してみよう | 第14章 | 電話連絡帳を作ってみる | 第24章 | プレゼンテーションの練習 |
| 第5章 | コンピューターのしくみ | 第15章 | ポータル・ページを作成する | 第25章 | IT導入を実行していく |
| 第6章 | インターネットのしくみ | 第16章 | Google AppSheetでアプリを作成する | | |
| 第7章 | 独自ドメイン取得・メール送受信 | 第17章 | Google Workspace以外の選択肢 | | |
| 第8章 | カレンダーを共有する | 第18章 | これから導入するならSaaS | | |
| 第9章 | ビジネス・チャットができるようにする | 第19章 | 業務ソフトウェアと基幹ソフトウェア | | |
| 第10章 | チャットとメールを使い分ける | 第20章 | 目標を明確にする | | |



自分の感覚や勘でデータを扱うのではなく「見える」化できた



株式会社十勝ふじや牧場
藤谷竜也さん

ITの技術などを必要とした時にも、知識があれば「これができるな」と気付くことができる。そういった知識を知っているのと知らないのとでは、これからの企業経営に差が出てくると思う。

受講前

データの管理に課題を抱えており、データのとりかたは自己流だった。

過去の成績を見て「よかったな」と振り返り、「だいたいこれくらいだろう」というフワツとした年間予測を出すことしかできなかった。

受講後

ITを活用してデータを取得・管理することができるようになった。

数字予測の精度を高めて、2年後・3年後の経営ビジョンまで描き、必要な時に実績データや根拠ある数字予測を提示できるようになった。

お申し込みの流れ

IT人材育成サービス

お問い合わせ・ご相談

DX学校にご興味をお持ちいただけただけの方、ご不明点・ご質問のある方、まずはお気軽にDX学校のWEBサイト(<https://dx.school/>)、お近くのDX学校へお問い合わせください。



申し込み

お申し込みはDX学校のWEBサイト(<https://dx.school/>)、お近くのDX学校へお問い合わせください。



教材発送

DX学校より受講のしおりや講座テキストなどの教材をお送りいたします。
e-Learningプラン、テキストプランをご選択の場合は、教材が届き次第、受講がスタートします。



オリエンテーション

受講の準備が整いましたら、担当講師とのオリエンテーションを実施します。



受講開始

オリエンテーション後、受講がスタートします。

DX学校

ご案内資料

- ① DX学校とは
- ② IT人材育成サービス
- ③ IT導入支援サービス
- ④ その他のサービス

全国75校のDX学校 IT導入診断士による支援サービス

「IT導入診断士」を取得した担当者が、企業の社長やIT担当者とともに、ビジネス課題を分析し、どのようにITツールを導入するかをヒアリングし、計画を立てます。

最初のうちは訪問してお話し、IT導入に合わせてテレワークが定着してきたら、ウェブ会議も併用しながら導入支援を進めます。

DX学校 古河校

担当:IT導入診断士

奥貫 祐次

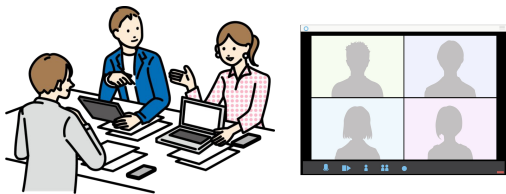
(有限会社コースター 取締役)



充実した支援パッケージ

IT導入支援サービス

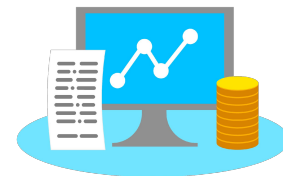
社内コミュニケーション パッケージ



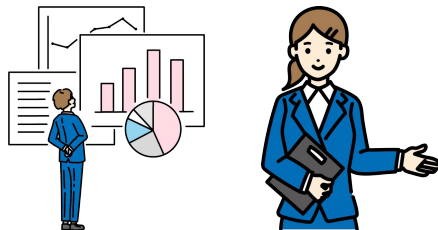
テレワークパッケージ



会計パッケージ



業務パッケージ




マーケティングパッケージ



キーワード検索

または

QRコードから
<http://0000000000> 

社内の「言った言わない」「聞いた聞いていない」を解消

チャットツールの導入で、社内のコミュニケーションが好転します。

また、会社独自のメールアドレスを取得、導入支援します。

オンライン会議システムの導入、設定、使い方のレクチャーまで全てお任せください。



在宅勤務(テレワーク)を実現するための環境を丸ごと構築

社内書類のペーパーレス化を推進し、インターネット上へのデータ保存ツールを導入して、社員間のデータ連携を円滑にします。

外出先や自宅からでもメールの確認・返信ができるようにし、紙の日報を廃止して、行動予定やスケジュールの管理もオンラインで実現します。



会計の大幅な自動化を行い、経理業務の負担を軽減

銀行口座と会計システムが連携し、銀行の入出金がすべて自動で会計システムに取り込まれます。

経費精算はスマートフォンでレシートの写真を撮って申請。

従業員の手間もファイリング・スペースも激減します。

予算管理、実績評価、原価管理といった管理会計も実施できるようになります。



業種によるさまざまな悩みを一緒に解決

小売業ならキャッシュレス化したい。

飲食業なら店舗運営だけでなく、デリバリーサービスも始めてみたい。

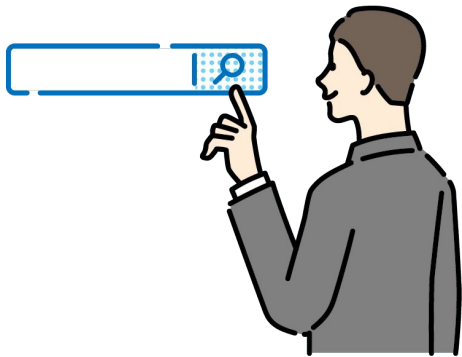
建設業なら現場ごとの進捗と人繰り、予算が見える化したい。

そんな悩みを全てお聞きし、一緒に解決策を見出し、並走しながら実装していきます。



WebサイトやSNSを活用したマーケティングの実践

Web上のコンテンツや広告を使って、商品やサービスの販売促進や、自社の認知度工場を目指します。
ホームページを作りたい。ホームページをスマートフォンに対応させたい。
ネット販売をしてみたい。ネットで広告を出してみたい。
そんな願いを全てお聞きし、Webの活用方法を一緒に考え、実践していきます。



キーワード検索

▶ ○○○○

検索



または



QRコードから
<http://000000000>



事例①

IT導入支援サービス

ウェブ会議ができないお悩みを解決

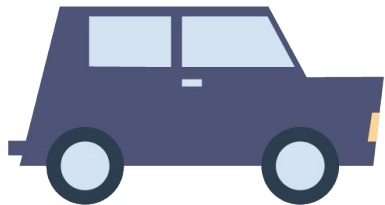
DX学校 札幌東校(北海道)

お客さま:大手保険会社代理店の社長

悩み:コロナウィルス蔓延防止のため、Zoomを使用したウェブ会議を徹底するように本社から指示されたが、ウェブ会議の導入方法・使い方がわからず困り果てる



Web会議ができない方は遠隔サポート自体が難しいため、会社に訪問し対面での支援を実施。Zoomを使うためのパソコン選定、インストール、初期設置、社員さんも含めて社内で活用できるところまで支援。



ホームページの相談から人材育成提供へ

DX学校 熊本校(熊本県)

お客さま:老人ホームの社長

悩み:ホームページ制作したいが、業者からの見積もりが高く悩んでいる

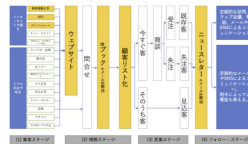
ヒアリングにて、社内にホームページを運用できる担当者がいないことが発覚。外注丸投げでホームページを作っても、お問い合わせにも対応できず破綻が見えているのでキャンセル。



1. まずは無料で利用可能なGoogle マイビジネス支援実施(2週間で1万閲覧数を獲得)
2. 社内のIT担当者を育成するために、IT導入士講座を提供。
3. IT導入士講座を提供しながら、同時にマーケティング支援を開始。



IT導入士(初級)講座



マーケティング支援

事例③


IT導入支援サービス

デジタル化で業務を効率化し、事業転換へ

DX学校 八戸校(青森県)

お客さま:青森県八戸市、スナックのママさん

要望:社内の業務がアナログで非効率のため、IT化して生産性をあげたい

- 
1. 業務の効率化のためスナックのIT導入支援を実施
 2. その後、事業転換のため古民家カフェをオープンするための事業再構築補助金に関して、申請支援を依頼される
 3. 見事採択
 4. 現在、古民家カフェオープニングのための支援を実施中

業務効率化支援

事業再構築補助金
申請サポート

古民家カフェ
オープニング
施策支援

お申し込みの流れ

IT導入支援サービス

無料相談

無料相談のお申し込みは、DX学校のWEBサイト(<https://dx.school/>)または、お近くのDX学校へお問い合わせください。



ご提案

DX学校のIT導入診断士によるヒアリング後に、企業の現状に最適なパッケージをご提案いたしますので、どこから手をつけて良いかわからなくてもご安心ください。



お見積り

パッケージと導入期間を元にお見積りをお送りいたします。



お申し込み

DX学校へ導入支援をお申し込みください。



導入支援開始

お申し込み完了後、導入支援をスタートいたします。

DX学校

ご案内資料

- ① DX学校とは
- ② IT人材育成サービス
- ③ IT導入支援サービス
- ④ その他のサービス

中小企業に特化したマーケティング講座

マーケティングの全体像を理解しながら、戦略立案、施策実行まで学んでいきます。マーケティングの知識が全くなくても安心して学習することができます。

DX学校のマーケティング講座では、最近流行の「デジタル・マーケティング」だけではなく、中小企業にとって効果的な、従来型の「アナログな」手法も合わせたマーケティングを学んでいきます。

受講形態	受講料金
e-Learning	55,000円(税込)

マーケティング講座
担当講師

DX学校 校長
梅崎 健理



「企業向け」と「消費者向け」両方のマーケティングをご用意

【共通】

- 第1章 DXのためのマーケティングとは
- 第2章 マーケティングを定義する
- 第3章 売り込まないマーケティング

【共通】(教科書のみ・e-Learningなし)

- 第20章 DX学校をサポートする主な
マーケティング商材
- 第21章 マーケティングから拓けるDXへの道
- 第22章 さらに勉強したい方へ

【「企業向け」マーケティング】

- 第4章 B2Bマーケティングの役割
- 第5章 準備1:戦略の立案と4Pの検討
- 第6章 準備2:キーワードの選定
- 第7章 実行1:ウェブサイトの制作
- 第8章 実行2:集客ステージの施策
- 第9章 実行3:理解ステージの施策
- 第10章 実行4:営業ステージ
- 第11章 実行5:フォロー・ステージ

<B2Bマーケティングのまとめ>

【「消費者向け」マーケティング】

- 第12章 B2Cマーケティングの役割
- 第13章 準備1:戦略の立案と4Pの検討
- 第14章 準備2:キーワードの選定
- 第15章 実行1:ウェブサイトの制作
- 第16章 実行2:集客ステージの施策
- 第17章 実行3:接客ステージの施策
- 第18章 実行4:リスト化ステージ
- 第19章 実行5:フォロー・ステージ

<B2Cマーケティングのまとめ>



中小企業のためのDX計画立案講座

DXの基本的な概念からITトレンドや最新の技術を学びます。理論だけにとどまらず、DX計画の立案から実行するスキルを習得し、実際のビジネスシーンでの適用が可能になります。

DXは一夜にしては成りません。段階を踏んで一步一步進んでいくことが重要です。初めてDXに取り組む方も「DX5つのステップ」を学び、実践することで、DXを的確に推進することが可能になります。

受講形態	受講料金
e-Learning	110,000円(税込)

DX計画立案講座
担当講師

DX学校 校長
梅崎 健理



初めての方でも実現可能なDX計画を立案・実行

第1章 DXとは？

- なぜDXしなければいけないのか？
- ディスラプション
- 目標の設定
- 実現に必要なこと

第2章 ビジネスを変えるとは？

- 売るものを変える
- 売り方を変える
- 売る場所を変える
- ビジネスの変化で売上が向上した業界

第3章 これからの技術

- 情報収集
- AI
- IoT
- 3Dプリンティング
- メタバース

第4章 DXの5つのステップ

- アナログ業務のデジタル化
- 一つの業務のデジタル化
- 業務プロセス全体のデジタル化
- 余裕の活用
- トランスフォーメーション

第5章 DXの方針を決めよう

- IT導入5つの原則

第6章 現在のビジネスのデジタル化

- 現在の業務を見直す
- 現在使っているツールを書き出し、見直す
- 業務効率化

第7章 余裕を活用する

- トランスフォーメーションの実現のために使う
- マーケティングに取り組む
- 人減らしを目的にしたDX計画は必ず破綻する

第8章 従業員のデジタル・リスキリング

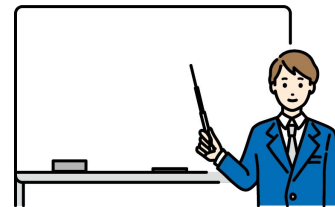
- 「デジタル・リスキリング」とは？
- 教育コースを見つける
- 国や地方公共団体の制度も活用する

第9章 DX計画を考える

- 自社の今のDXの段階を知る
- 自社の良いところを引き出す
- 自社のDX計画を立案してみる

第10章 計画のブラッシュ・アップ

- 全社で検討する
- DX認定を申請しよう



問い合わせ先

ご不明点などあればお気軽にご相談ください！

DX学校 古河校(運営会社 有限会社コースター)



090-1114-2457 (受付 月曜日～金曜日 10～17時)



info@dx-koga.jp

DX学校本部事務局(運営会社 株式会社ディグナ)



0120-659-189 (受付 月曜日～金曜日 10～17時)



info@dx.school

運営会社(本部)

デジタルの力で中小企業の経営課題の解決を支援
ITに関する中小企業からの相談実績は累計4,000件以上

会社名	株式会社ディグナ
役員	代表取締役 梅崎 健理 取締役 福原 飛鳥
本店所在地	東京都港区白金三丁目7番18-306号
本社事務所	東京都港区白金三丁目7番18-306号
設立	2010年12月1日
従業員数	24名(アルバイト・パート含む)
事業概要	中小・小規模事業者のIT支援事業。ITに詳しくない中小企業経営者に寄り添う学校「DX学校」の運営。「IT導入診断士」講座の開講、資格認定。



代表取締役 CEO 梅崎 健理

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 研究員(非常勤)鹿児島県に生まれ。愛称は「うめけん」。中小企業庁「中小企業デジタル化応援隊事業」説明会講師ほか、中小企業の経営者向けの経営課題を解決するIT活用セミナー等多数。公益社団法人日本青年会議所「JCI JAPAN TOYP 2019」(青年版国民栄誉賞)選考委員

取引実績



LINE

Coca-Cola

SoftBank

dentsu

SHISEIDO

MIKAWAYA21

運営会社(古河校)

デジタルの力で中小企業の経営課題の解決を支援 ITに関する中小企業からのご相談を現場で対応します

会社名	有限会社コースター
役員	取締役 奥貴 祐次
本店所在地	茨城県古河市東本町2-16-18
本社事務所	茨城県古河市本町4-2-27 COKOGA OFFICE 5F 月桂樹
設立	1998年10月20日
従業員数	2名(アルバイト・パート含む)
事業概要	中小・小規模事業者のIT支援。社会に必要なパートナーとして“H(英知・叡智 Human & Heart)あるITの活用”の提案。その一環として”ITに詳しくない中小企業経営者に寄り添う学校「DX学校」”の古河校運営。「IT導入診断士」講座の開講、資格認定。
HP URL	https://co-star.jp/



取締役 奥貴 祐次 (IT導入診断士)

古河市出身・在住

有限会社コースター 取締役社長

・茨城県商工会エキスパートバンク専門家指導登録

・茨城県商工会議所エキスパートバンク登録

茨城県県西地域の発展に貢献する上ではDX推進が不可欠であろうと思うに至り「DX学校」事業を始めることにしました。より良い未来を築いていく一助になればと思っています。

DX 学校